



京都市生涯学習行政推進会議 議長  
京都市長

門川 大作

生涯学習は、市民一人ひとりが主役です。夢をかなえるため、仕事の幅を広げるため、人生を豊かにするため…。動機も願いも人それぞれ。

個々のスタイルで楽しく学び、新しい世界の扉を開く。そこには多くの人との縁があり、それはやがて絆となる。学びの共有が新たな学びへの意欲を生み、学びの成果は、次代の人づくりを支える。こうした「学びの循環」が、活き活きとしたまちを生み出します。

京都のまちは、あなたの可能性を高める学びに溢れています。あなたの学びが、京都のまちを元気にします。

さあ、あなたも京都のまちに飛び出しましょう!



京都市生涯学習市民フォーラム 会長  
株式会社堀場製作所 最高顧問

堀場 雅夫

『未来は予測するものではない。  
自ら創り上げていくものだ。』

“パソコンの父”と呼ばれた米国人のアラン・ケイ氏のこの言葉が大好きです。

未来の京都は、市民が「みんなでこんなまちにしよう!」と動き出した時に初めてできるのです。そして、日々の生活で感激・感動を大切に、それをパワーに行動を起こせば、京都は“グッとくる”素晴らしいまちになります。

生涯学習市民フォーラムの活動を通じて、多くの方に勇気と感動を与え、世界中の人々から尊敬され、愛され、「一度、行ってみたい」と言われる京都を共に創って参りたいと願っています。

## 京都市生涯学習情報検索システム



京まなび  
みやこ  
ネット

市内で開催される各種講座や講演会、イベント、展覧会などの生涯学習情報をインターネットにより配信。  
生涯学習関係リンク集も充実。



<http://manabi.city.kyoto.jp/>

京まなび

検索



## 子どもを共に育む京都市民憲章



わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切に、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切に、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

- わたくしたちは、
- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
  - 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
  - 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
  - 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
  - 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
  - 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

(平成 19年2月5日制定、3月13日 京都市会が憲章推進を決議)

子どもたちの今と未来のために大人として今何を!

「子どもを共に育む京都市民憲章」を実践しましょう。

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習推進担当

TEL:075-251-0410 FAX:075-213-4650

[http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-17-1-0-0\\_6.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-17-1-0-0_6.html)

